

## 故田島慎一副会長偲ぶ会開かれる！

■2008・3/29 ■メルパルク熊本

昨年12月、45歳の若さで亡くなった田島慎一副会長の偲ぶ会がこの程行われた。遺族、県協会役員、水前寺支部の生徒やOBを中心に45名が出席し、故田島副会長の在りし日を偲んだ。暖やかお酒をこよなく愛した故人の想を受け継ぎ、歌あり、余興ありの暖やかな偲ぶ会となつた。改めてご冥福を祈りたい。



## 新事務所南坪井町に移転オープン

4月2日、熊本市の中心部国道3号線沿いに県協会の本部事務所が移転オープンした。

6階建てのビルの1階で広さは11坪、事務局としては十分なスペースでテコンドー用品も展示してある。県北警察署の近くもあり目立つ看板などテコンドーをアピールするには絶好の立地であり県テコンドーの拠点としてのPR効果は大きい。



## 託麻支部オーブン！

■2008・4/4 ■託麻北地域コミュニティセンター

4月4日、旧帯山本道場のジュニアを中心とした、託麻支部が託麻北地域コミュニティセンターで初練習を行つた。昇級審査のために、ブンセ練習を主に約1時間間にわたりて樋口会長が指導にあつた。託麻支部は毎月曜日の午後7時から、ジュニアを対象としている。今後の活動に期待したい。

## 春季昇級審査会・ブンセ講習会も開催！

■2008・4/6 ■県民運動公園体育館

春季昇級審査会は、県民運動公園に105名の受験者が集まり行われた。午前中に審査会を終えた後は、樋口会長によるブンセの講習会も開かれ、受験者は熱心に取り組んでいた。

## 樋口清輝選手・津田ひかる選手の壮行会盛大に！

■2008・4/19 ■阿蘇いこいの村

アジア選手権大会の日本代表となった樋口清輝選手と同じく世界ジュニア選手権大会の代表となった津田ひかる選手の激励壮行会が、この程、阿蘇いこいの村に183人が出席して盛大に開催された。佐藤義興阿蘇市長の激励の挨拶に続き、樋口選手、津田選手が大会に向けて抱負を語り、二人の特別演武も行われるなど和やかな壮行会となつた。

## 新副会長に北里勝義氏が就任！

故田島前副会長の後任として、北里勝義氏が4月29日の理事会で全開一致で承認された。北里氏は1999年当時、県協会の副会長として協会事業に携わっていたが、海外勤務となり、この10年間は協会から離れていた。この度、国内勤務となり時間的にも余裕が出来たことから、今回、田島前副会長の後任として就任した。

## 九州地区審判講習会開催！

■2008・5/10~11

■託麻北地域コミュニティセンター

長野修士大分県協会理事長・国際審判の意向により、5月10日・11日の2日間、託麻北地域コミュニティセンターで、県協会からは6名、九州各県から28名が参加して行われた。

審判ルールなどの改正もあり、九州地区での審判員の向上を図る為に審判教本での講習、実技講習など参加者は熱心に受講していました。



## 熊本学園大テコンドー同好会結成！

熊本学園大学でのテコンドー同好会が5月、渡辺雄二氏を中心として結成された。

現在、熊本では崇城大、熊本大の2大学がテコンドー部として活動しているが、かねてより学園大でのテコンドー同好会の結成が呼ばれていたなか、竜田支部の生徒である渡辺雄二氏が、本年学園大に入學するのをきっかけに、結成にいたつた。まだ、結成したばかりで会員は少ないが、今後他大学との合同練習などを通じて徐々に会員増を募る。

## 熊本武道館で選手強化始動！

■2008・5/13

■熊本武道館第一小道場

県の選手強化を更に推進する目的で、5月から、県選手強化委員会(西村紀幸委員長)は毎週火曜、土曜の週2回、熊本武道館での強化練習を開始した。指導は樋口清輝、県協会選手強化委員(技術指導責任者)、金村康正指導員を中心として全国大会出場経験者など10名程度で行う。

初日には、樋口会長から、熊本の選手強化の拠点として、厳しい練習を耐え企画、国際大会などで入賞できる選手をめざして頑張るようとの訓示もあり、参加した選手達は熱心に初日の練習に取り組んでいた。



## 内村剣悟選手

1年間、熊本県協会に所属！



全日本ナショナルチームでフィン級王者の内村剣悟選手(韓国・建国大学)は今年1年間、熊本県協会の所属になるととなり、県選手にとっては強化に大きな力となりそうだ。当分は、選手強化の練習に参加し来年2月の全日本選手権で連覇に挑む。

# テコンドーくまもと Vol.26

## TAEKWONDO KUMAMOTO 2008/3~2008/6

発行 熊本県テコンドー協会/熊本市南坪井町4-23 MTビル1F TEL&FAX096-206-1772



「アジア選手権大会」表彰台に上がる樋口選手

## アジア選手権大会「樋口清輝選手」フェザー級銅メダル獲得！

### 第18回アジア選手権大会

■2008・4/26~28 ■中国:洛陽市

2年に一度開催されるアジア選手権大会、今年は北京五輪を控えた中国、洛陽市の体育センターで盛大に開催された。

日本からは、男子6名、女子4名の10名が出場し、県協会所属の樋口清輝選手が日本選手で唯一フェザー級で3位に入賞。14回香港大会、15回ヨルダン大会に続く銅メダルを獲得した。

2日目に登場した樋口選手は、2回戦から出場。香港の選手は、1-0で快勝すると、続く準々決勝は、地元中国の選手。開催国選手だけに厳しいジャッジに泣かされながらも、1-0で勝利し3位以内を確定した。準決勝は、強豪国、イランの選手と対戦。開始そうそう、樋口選手の蹴りがヒットしたが、なぜか、相手のポイントとなり、中々ポイントが付かない展開となり、善戦するも敗退し、決勝には進めなかった。イランの選手は、決勝でヨルダンの選手を下して優勝した。今回、電子防具を使用しての大会となつたが、誤動作などもあり、ロンドン五輪までに、改良する点はまだあります。



## 世界ジュニア選手権大会「津田ひかる選手」ベスト16！

### 第7回世界ジュニア選手権大会

■2008・5/8~11 ■トルコ:イズミル

14歳から17歳で行われる世界ジュニア選手権大会、今回はトルコイズミルで開催された。

日本からは、男子3名、女子3名が出場し、メダルを目指した。県協会からは、阿蘇支部所属の津田ひかる選手がバントム級で出場。今回が2度目の出場となる世界ジュニアの2日目に登場した津田選手の初戦は、バントムジュニア選手権2位の強豪選手との対戦。序盤より積極的に攻め4-0で快勝する。続く2回戦、地元トルコの選手との対戦となりましたが、津田選手の蹴りが中々ポイントとなり、惜しくも敗れメダルの獲得はできなかつた。今回も、世界の壁は厚く、日本選手のメダル獲得は残念ながら出来なかつた。

津田選手の2度目となった世界ジュニア選手権大会、ベスト16の成績で終わつたが、しっかりと世界を見つめて、今後の大会に期待したい。





## 大会ハイライト



### 樋口清輝選手、津田ひかる選手優勝！

第18回アジア選手権大会日本代表選手選考会

■2008・3・9(日) ■大阪市立中央体育館

4月、中国で開催される第18回アジア選手権大会の日本代表選考会は、大阪市立中央体育館でこの程開催され、熊本からは樋口清輝選手、津田ひかる選手の2名が出場し、樋口選手がフェザー級で優勝、津田選手も女子フィン級で優勝した。

樋口選手は、決勝で福岡の真貞選手と対戦し、1ラウンド7-0のRSCで快勝し、津田選手は、初戦で優勝候補の高橋選手に接戦の末、サドンデス（延長先取り）で1ポイントを先取して決勝へ、決勝は、富安選手と対戦、4-0で下して優勝を決めた。

選考会議では、樋口選手はフェザー級で代表が決定、津田選手は、5月の世界ジュニアとの兼ね合いがあり、今回は、世界ジュニアへの出場となった。

### 津田ひかる選手、世界ジュニア日本代表選手に！

第7回世界ジュニア選手権大会日本代表選手選考会

■2008・3・20(木) ■東京国立トレーニングセンター

5月、トルコで開催される第7回世界ジュニア選手権大会日本代表選考会は、東京の国立トレーニングセンターで開催された。熊本県協会からは、津田ひかる選手、中山北斗選手の2名が出場し、津田選手がパンタム級で優勝、代表を決めた。

また、中山選手もフェザー級で出場、初戦を快勝、続く2回戦、神奈川の三橋選手に接戦の末サドンデスで負け、残念ながら代表権は獲得出来なかつた。

### 高八重良太、松本宇生両選手優勝飾る！

第1回HAIYAカップ交流大会

■2008・4・20(日) ■大宰府体育センター

福岡在住の李光福師範が主催となって開催した第1回HAIYAカップ交流大会が、この程、大宰府体育センターで開催され、熊本大学から8名の選手が参加した。

大会は、少人数ながらも白熱した試合が多く、パンタム級で高八重良太選手、フェザー級で松本宇生選手が共に優勝した。

### 県勢8階級でV! 飛燕会長崎オープン

2008飛燕会長崎大会

■2008・5・18(日) ■長崎県立総合体育館武道場

「日本テコンドー飛燕会」は、長崎市で初のオープン大会を開催した。大会には、地元長崎の他、福岡、沖縄、熊本などから82名が参加。県協会からは18名が出場して12階級で熱戦が繰り広げられた。県選手は、ジュニア選手、一般選手共に健闘し8階級で優勝した他、6階級で入賞する好成績となつた。

#### ◆大会結果

小学3・4年男子	1位 森山海路 (富合)
小学5・6年男子	1位 西田 亮 (不知火)
小学5・6年女子	1位 西村真利愛 (阿蘇)
中学1・2年男子	1位 西村 純 (阿蘇)
小学2・3年女子	2位 米田 優 (阿蘇)
小学5・6年女子	2位 本田琴子 (阿蘇)
一般男子パンタム級	1位 松嶋裕典 (熊本大)
一般男子ウェルター～ヘビー級	1位 野口嘉津馬 (熊本大)
一般女子フィン・フライ級	1位 本田涼夏 (阿蘇)
一般女子パンタム・フェザー級	1位 本田千尋 (阿蘇)
一般男子フィン級	3位 熊谷健太 (熊本大)
一般男子パンタム級	3位 渡辺雄二 (学園大)
一般女子フィン・フライ級	3位 花田耕平 (熊本大)
一般女子パンタム級	3位 江崎愛歌 (熊本大)

■敢闘賞 西田 亮 (不知火)



西田  
亮選手



◆大会結果	
パンタム級	1位 高八重 良太 (熊本大)
フェザー級	1位 松本 宇生 (熊本大)
フィン級	2位 左久田 朝洋 (熊本大)
ライト以上級	2位 溝見 裕之 (熊本大)
フライ級	3位 平山 祐 (熊本大)



## 大会ハイライト



### 渡辺雄二選手(熊本学園大)軽量級で頂点に！

第14回熊本県学生選手権大会兼第40回熊本地区大学総体テコンドー競技

■2008・5・25(日) ■熊本大学小体育馆

今年の県学生選手権大会は、熊本大学体育館に崇城大・熊本大・学園大から20名の選手が参加して行われた。男子は、軽量・中量・重量の3階級で、女子は1階級で実施された。軽量級では、学園大の渡辺雄二選手が、平山祐選手を決勝で下し優勝を飾った。

#### ◆試合結果

階級	1位	2位	3位
男子軽量級の部	渡辺 雄二 (学園大)	平山 祐 (熊本大)	坂田 憲紀 (熊本大)
男子中量級の部	高八重良太 (熊本大)	松嶋 佑典 (熊本大)	新本 克将 (熊本大)
男子重量級の部	溝見 裕之 (熊本大)	野口嘉津馬 (熊本大)	富井 孝司 (熊本大)
女子の部	申 荣柱 (崇城大)	江崎 愛歌 (熊本大)	江藤 美砂 (崇城大)
最優秀選手賞	高八重良太 (熊本大)		



### 九州大会出場をかけて熱戦！本田三姉妹嬉しいV！

第14回熊本県選手権大会

■2008・6・8(日) ■アスパル富合雁回体育馆

#### ◆試合結果



左から琴子選手・千尋選手・涼夏選手

第14回県選手権大会は、富合町アスパル富合雁回体育馆で98名が出場して開催された。

今大会は、8月に宮崎で開催される第19回の全九州大会の選考を兼ねた大会となり、出場する選手の意気込みもボルテージが上がる。一般的部、フィン級では、熊本県選手(崇城大)が渡辺雄二選手(学園大)を抑えて嬉しい初優勝を飾る。また、フライ級では中山北斗選手(水前寺)が同門対決となる決勝戦で寺本直暉選手と激しいポイントの入り合いとなり延長の末、サドンデスにて中山選手の蹴りが決まり、テコンドー留学の成果を発揮して嬉しい初優勝となった。パンタム級では久々に大会出場した元全日本フィン級覇者、長野彰将選手が高八重選手を抑えて優勝。また牧野信一選手(玉名)が昨年に続き重量級を制した。フェザー級は、ベテラン重松威一郎選手が韓国啓明大学在学中の渡辺健太選手に勝利して同級を制した。

女子の部では、本田三姉妹の千尋選手、涼夏選手、琴子選手がそれぞれの階級で優勝を飾る活躍をみせた。開会式では、4月のアジア選手権でフェザー級銅メダルに輝いた樋口清輝選手、5月の世界ジュニア選手権でパンタム級ベスト16に輝いた津田ひかる選手の両名に、県協会から賞状が贈られまた、特別演武として県協会監事でもある戸山流居合道師範「高橋和成」先生による抜刀術の模範演武に会場からは多くの拍手が送られた。



- 最優秀選手賞 重松威一郎 (水前寺)
- 技能賞 熊本 純 (崇城大)
- 殊勲賞 本田 涼夏 (阿蘇)
- 敢闘賞 中山 北斗 (水前寺)



### 「森山海路選手」優勝を飾る！

NPO法人日本テコンドー普及会福岡大会2008

■2008・6・28(土) ■アクション福岡 サブアリーナ

福岡で開催されたNPO法人普及会主催の大会に今回富合支部から森山海路選手1名が小学男子3.4年中量級に出場。11名のエントリーの中、順調に勝ち進み決勝へ、決勝戦は福岡の中村日加瑠選手に4-2の判定で嬉しい優勝となった。

